

【初動期】

番号	時期	属性	アクション項目	具体的なアクション	必要な情報入手	情報の入手先	必要な情報提供	情報の提供先	公表可否	必要な活動資源 (機材・設備・土地等)	関係する規制・許認可、商慣行	
1	初動期	空港上屋	非常事態の認識共有(空港設置管理者等による緊急事態宣言等の発令)	空港設置管理者等による緊急事態宣言等の発令	国、空港設置者が緊急事態を判断するために必要な情報	各事業者						
2	初動期	空港会社	情報共有の場の設置	関係者の情報共有の場の設置(平時)								
3	初動期	インテグレーター		行政も入った形での関係者の協議体(情報共有の場)の設置(緊急時)								
4	初動期	フォワーダー		緊急時に荷主を含む関係者が情報を共有できるプラットフォーム(掲示板)の設置	各関係者が共有可能な各種情報	各関係者				情報共有のための掲示板(国土交通省による設置・運営を想定)		
5	初動期	空港会社	被害状況確認	災害時の被災箇所・被災状況	被災情報	COC(オペレーションセンター)						
6	初動期	航空会社		貨物地区の被災状況(自社グループ施設)	被災情報	現場確認						
7	初動期	航空会社		貨物地区の被災状況(浸水・電源・アクセス等)	被災情報	空港会社(管理者)						
8	初動期	空港上屋		貨物地区の被災状況(自社グループ施設)	被災情報	現場確認						
9	初動期	空港上屋		上屋の安全確認								
10	初動期	空港上屋		上屋の浸水状況確認								
11	初動期	インテグレーター		保有している貨物上屋の浸水被害を受け、従業員の人命確保と施設の復旧を第一に考えて業務に当たるよう指示した。貨物については、外部の職員で対応することを伝えた。	上屋の浸水状況、連絡橋の通行制限	現地の監視カメラ、現場とのメール、電話、テレビ報道				監視カメラ、メール、電話		
12	初動期	フォワーダー		関空内の上屋状況確認(水没し、業務を停止)	関空の上屋の状況	関空の上屋	関空上屋の状況	本社				
13	初動期	航空会社		運航停止	9月4日に空港自体が閉鎖されたため、運航はその時点で停止していた。国際線については、9月5日から成田に補航便を運航した。							
14	初動期	インテグレーター		業務停止	地上の集配業務を停止していた。							
15	初動期	フォワーダー			関空被災の際、成田から出したいというお客様がいた。普段は荷主本位であるが、その際は断った。							
16	初動期	航空会社	職員の安否確認	社員の安否確認	安否情報	社員						
17	初動期	空港上屋		社員の安否確認	安否情報	社員						
18	初動期	空港上屋		社員の安否確認	安否情報	社員						
19	初動期	空港上屋	清掃・復旧作業	浸水上屋の清掃								
20	初動期	フォワーダー		被災倉庫の復旧								
21	初動期	フォワーダー		事務所の復旧			復旧に向けて必要な資機材等	本社		計量機材、その他業務に必要な機器		
	初動期	航空会社	二次災害の防止	強風が予想される場合にはULDの飛散防止が必要となる								
22	初動期	航空会社	税関上の仕向け地変更	9月4日の時点ですでに動いている貨物については、関空が使えないため税関上の仕向け地変更を行い、成田で輸入通関をして、トラックで国内に配送を行った。								
23	初動期	インテグレーター	行先変更	航空局から運航の許可を得て、便を成田に変更するなどしていた。						航空局からの許可		
24	初動期	フォワーダー	輸出貨物の転送	輸出貨物を成田・中部へ転送			関空向け貨物の成田・中部への転送	顧客				

【応急対策期】

時期	属性	アクション項目	具体的なアクション	必要な情報入手	情報の入手先	必要な情報提供	情報の提供先	公表可否	必要な活動資源 (機材・設備・土地等)	関係する規制・許認可、商慣行
25	応急対策期	空港上屋	インフラ復旧状況の情報収集	再開の条件に関する機材、ガソリンスタンド、通信設備の復旧状況は空港会社から情報を入手	機材、ガソリンスタンド、通信設備の復旧状況					
26	応急対策期	空港上屋		関空・連絡橋の復旧見通し確認	連絡橋の復旧見通し	ネクスコ・警察・国交省(道路・鉄道)				
27	応急対策期	空港上屋		上屋の被災状況・復旧見通し			被災状況・復旧見通し	公開先はわからない		
28	応急対策期	インテグレーター		通行制限下の連絡橋を通行する(ために必要な情報を得るようとしたが、情報が錯綜していた)。	連絡橋の通行制限の状況	警察、物流産業室、航空局				
29	応急対策期	インテグレーター		運航再開に向けて飛行機を到着させる(ため、いつから離着陸が可能になるかの情報を共有する)。	離着陸再開の目途	空港会社				
30	応急対策期	空港上屋	被災による損壊貨物への対処	風水害により生じた「ダメージ貨物」の対処(処分)	荷主意向・保険サーベイ・通関意向	荷主				保険適用・通関前貨物の処分
31	応急対策期	空港上屋		空港外倉庫への被災貨物の転送					トラック、空港外倉庫	保税措置
32	応急対策期	フォワードター		水に浸かった貨物の廃棄や保険適用の手続き			貨物の取扱い(廃棄・保険適用等)	顧客		
33	応急対策期	空港上屋	廃棄物への対処	風水害により生じた「ごみ」処分・処理方法	処分方法・処分地	空港会社				関空・環境アセスでの島内処分原則
	応急対策期	空港会社		ゴミの収集場所確保						
34	応急対策期	航空会社	臨時上屋スペース確保	系列上屋のスペース増強	空きスペース(格納庫利用)	空港会社・税関			上屋・土地	保税許可
35	応急対策期	航空会社		系列上屋のスペース増強	立体駐車場利用	空港会社・管理会社・税関			立体駐車場	保税許可
36	応急対策期	空港上屋		島外・空港外用地での貨物取扱(保税下)	用地情報、人員・資機材、輸送責任、保税許可	土地所有者、上屋会社、転送運送会社、税関				保税許可、輸送責任
37	応急対策期	フォワードター	臨時蔵置場の確保	関空島外の自社倉庫を臨時的に活用し、被災貨物の保険調査などを実施					自社倉庫	

【復旧期】

時期	属性	アクション項目	具体的なアクション	必要な情報入手	情報の入手先	必要な情報提供	情報の提供先	公表可否	必要な活動資源 (機材・設備・土地等)	関係する規制・許認可、商慣行
38	復旧期	フォワードター	貨物地区内の交通統制・誘導	他空港の各種空港情報(例:成田の貨物地区内の一方通行道路と上屋配置の情報)の提供	各種空港情報	各空港会社	各種空港情報	他空港のフォワードター等		
39	復旧期	空港上屋	受託制限の要請	航空会社への受託制限の要請		受託制限の要請	航空会社			
40	復旧期	航空会社	機材の調達	関空のフォークリフトが水没し使えなくなった。リースなのですぐに台数を用意できないが、経産省からプッシュしてもらい、優先的に手配してもらった。					フォークリフト	
41	復旧期	空港上屋		計量器の他上屋からの貸し出し						
42	復旧期	空港上屋	作業体制の再編	他空港への人員派遣						
43	復旧期	航空会社	転送トラックの手配	被災関西空港上屋と応援空港上屋間の転送トラックの手配	トラック調達	運送会社				